

【会議記録】

第3回 「みんなの制服プロジェクト」委員会

日 時	令和2年9月14日（月）14時00分～16時00分
場 所	一宮市役所901会議室
出席者	委員10名（内藤、深谷、大野、森、山田、光樂、岡本、北山、服部、渡邊）

1 開会のことば

2 一宮市教育委員会あいさつ（教育文化部長）

3 学習会「標準服改定の手順について」（名古屋菅公学生服）

4 議事

（1）「みんなの制服プロジェクト」委員会の動き・意見反映の流れについて

- ・シンポジウムでまとめたみんなの「想い」を市に提案し、新制服導入の了承が得られたら、現行の制服をどう発展させるかの検討を重ね、第5回委員会で新制服のデザイン投票にあげるデザイン案3体を決定する。投票後、その結果を基に新制服のデザインを市に提案し、了承を得られたら、サポートメーカーと仕様書を完成させていく。来年5月には仕様書を開示する計画で進めていく。

（2）保護者アンケートの結果について

- ・ブレザーの導入については、条件付きを含めた賛成が70%を超えており、反対は10%未満であった。
- ・スカート・スラックス・キュロットなどを選択できるようにすることに対しては、約80%が賛成で、反対は約5%であった。
- ・制服にどのような機能があるとよいと思うかという質問に対しては、「洗濯できる」「アイロンの必要がない」「着心地が良い」「丈夫で破れにくい」といった機能を望む声が多くあった。
- ・夏服にポロシャツを導入することについては、賛成が70%を超えており、反対は5%であった。
- ・保護者の制服に対する意見は「価格」と「管理のしやすさ」が中心である。それに対する不安があると反対意見が出るのではないだろうか。
- ・ブレザーを導入する場合は、学年途中で制服変更をするかどうかを決める必要がある。
- ・「ブレザー」を導入する場合は、「ジャケットインナー（シャツ）が容易に管理できるかどうかの不安」「ブレザーの機能性とデザインに対する不安」「価格に対する不安」「新制服と旧制服が混在することに対する不安」などを払しょくする必要がある。
- ・「下衣」を選択制にする場合は、「選択肢が増えることへの不安」「男子生徒への配慮」などについて検討する必要がある。

（3）みんなの制服プロジェクトシンポジウムについて

- ・11月14日（土）に開催する。
- ・参加希望者が多かった場合は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、会場をメイン会場とサテライト会場に分ける。2会場はWeb会議システムでつなぎ、サテライト会場からも意見が述べられるようにする。
- ・シンポジウム前日までの準備として、各中学校で生徒や教師が制服に対する意見を書けるように模造紙を掲示する。
- ・可能な学校は、校内制服委員会（仮）を立ち上げ、委員会のメンバーで、自校の意見集約を行ったり、シンポジウム当日に集約した意見を発表したりする。

（4）その他

- ・今後の委員会日程を確認した。

5 教育文化部次長あいさつ

6 閉会のことば